

福島県立医科大学附属病院

平成23年度 第2回

臨床腫瘍セミナー

家族・遺族のかたがたのよりよいケアのかたち
—サイコオンコロジーの第一人者をお招きして—

演題

がん医療と心のケア

講師

埼玉医科大学 国際医療センター

精神腫瘍科 教授 大西秀樹先生

日時

平成23年6月21日(火)

18:00~19:00

場所

福島県立医科大学

11号館(臨床講義棟)

第二臨床講義室

●講演内容●

がん医療は著しい進歩を遂げているが、身体の変化、社会生活上の変化も大きい。これらは患者にとって大きなストレスであり、精神疾患の発症に結び付いても不思議ではない。

治療中がん患者の調査では半数近くに精神科診断名が付き、適応障害、うつ病、せん妄が三大疾患である。精神症状は、意思決定障害、入院期間延長、自殺などに関連しているため適切な介入が必要である。

患者家族は心身ともにストレスを受けているので、“第2の患者”と呼ばれ、治療とケアの対象であると認識されている。

死別は日常生活で最大のストレスなため心身に影響が及び、死亡率上昇、精神・身体疾患罹患などに関連しているため、介入(後治療)が必要である。

このように、がんと心の問題は密接なため、がんに関連した心理社会的問題を取り扱う臨床および学問領域が必要とされ、サイコオンコロジー(精神腫瘍学)が誕生した。サイコオンコロジーは、がんに伴う心理・社会的問題について医学、看護学、心理学、社会学、死生学、哲学など様々な分野よりアプローチを行い、患者の抱える問題を軽減することに貢献している。

当日は、がん患者、家族、遺族の心の問題とその対応について論じたい。

●講師紹介●

1986年横浜市立大学医学部卒。藤沢病院、横浜市立大学精神科講師、神奈川県立がんセンター精神科部長を経て2006年4月埼玉医科大学精神腫瘍科教授。2007年4月埼玉医科大学国際医療センター精神腫瘍科教授。横浜市立大学客員教授。日本サイコオンコロジー学会理事長。専門領域は、精神腫瘍学、死生学。患者遺族の心のケアを行う「遺族外来」を開設。第16回日本臨床死生学会大会 大会長。

著書「がん患者の心を救う—精神腫瘍医の現場から(河出書房新社)」「女性のがん 心のケア(土屋書店)」

●がん治療に携わる医師及びコメディカルを対象に公開セミナーとして開催されます

●本セミナーは「東北がんプロフェッショナル養成プラン」事業の一環となっております

●本学大学院生は、大学院授業要項で規定する共通必修科目(規定の8)に該当します

お問い合わせ先
福島県立医科大学附属病院
臨床腫瘍センター
がんプロフェッショナル養成支援室
電話 547-1410(内線2661)
メール akiko-a@fmu.ac.jp

次回開催のお知らせ

日時 平成23年7月19日(火)18時~19時

講師 財団法人脳神経疾患研究所附属

総合南東北病院

口腔がん治療センター長 瀬戸院一先生

内容 「口腔がん治療コンセプトの推移」